

テクニカルノート0004 - 2005.10

Time Base v1.40

本書では、Time Base v1.40の変更点を説明します。

1. はじめに

Time Base v1.40では、以前のバージョンの不具合を修正しました。また、Nuendoシステムとの最適化も行っています。

2. LTCの読み取り

LTCをTime Baseに送信すると、Time Baseのロックが切断される不具合を修正しました。

3. “TC” LEDのフリッカーを修正

あるマシンからの9ピンTCを読み取ると、“TC” LEDがフリッカーを生じ、間違ったタイムコードが出力される不具合を修正しました。

4. Time Baseの動作が遅くなる不具合を修正

Time Baseの動作が徐々に遅くなる不具合を修正しました。
また、まれにクラッシュする不具合を修正しました。

5. USB接続の最適化

PCには最新のTime Base USBドライバをインストールしてください。www.steinberg.net をご確認ください。

6. マシンコントロールの最適化

Nuendo(マウス/キーボード操作)によるジョグ/シャトル/微調整のコントロールを最適化しました。
Nuendoへのマシンポジションのフィードバックを最適化しました。
“Time Base 9-Pin Window”にマシンの名称が表示されるようになりました。

7. 録音待機スイッチ

Time Baseの電源を再投入した際に、マシンページの“Rec”設定が“AUD”から“OFF”に戻らないようにしました。

8. 「新しい」マシン

30以上の新しい9ピンマシンに完全対応しました。トラックアームングやレイバック(編集)機能も使用できます。

9. VTM - バーチャル9ピンマシン

Time BaseとNuendoを組み合わせることにより、Nuendoを9ピンマシンのように取り扱えます(9ピンスレーブモードを含む)。
たとえば、Nuendoにおいてトラックアームを行うと、接続されているコントローラー(インテグレート・コンソール)のトラックボタンが点灯します。トラックアームを解除するとコンソール側も解除されます。

10. “00:00:00:00”へのロケートについて

Time Baseに接続した9ピンマシンは、“00:00:00:00”へのロケートを行えません(“00:00:00:01”へのロケートは可能)。これはバグではなく、Time Baseの仕様です(マシンによっては“00:00:00:00”へのロケートが誤動作の原因となります)。

11. Tascam 9ピンマシンの検出について

TascamのMMR8とMX2424は、同じ9ピンIDを使用します。したがって9ピンマシン検出の際に、MMR8とMX2424を識別することはできません。その結果、Time BaseおよびNuendoにおいて、間違ったマシン名称が表示されます。